



子どもたちの地道な努力が成果に出ています！

(本年度実施された6年全国学力・学習状況調査の結果)

【国語】

<強み>

問題番号3一 (問題の概要)

丸山さんの【文章の下書き】の構成についての説明として適切なものを選択する。

出題の趣旨

自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える。

問題番号3二 (問題の概要)

丸山さんの【文章の下書き】の点線の部を【西田さんの話】を用いて詳しく書き直す。

出題の趣旨

目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。

<弱み>

問題番号1二 (問題の概要)

津田梅子についての【スピーチ】の練習で、<資料②>と<資料③>を使った理由の説明として適切なものを選択する。

出題の趣旨

資料を用いた目的を理解する。

「話す・聞く」資料を用いてスピーチをすることを想定した問題。資料を用いて発表する際になぜその資料を用いる必要があるのかを捉えることができていない児童がいる。

問題番号 1 三 (問題の概要)

津田梅子についての【スピーチ】の練習の□の部分で話す内容として適切なものを選択する。

出題の趣旨

目的や意図に応じ、資料を使って話す。

④ 教師になった卒業生の勤務校のある場所 (1903～1912年)

・印は勤務校のある市や町など

〔スピーチの一部〕

〔資料④〕を示す この地図を見てください。

このように、津田さんは、社会に出て活躍する女性を世の中に送り出したのです。

三 上野さんは、「スピーチ」の練習をふり返り、話すことにしました。上野さんは、どのように話すかよいですか。次の【スピーチの一部】の□に入る内容として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

<分 析>

例年は「書くこと」に関する項目に課題が見られた。その課題を受けて、重点単元を決めた授業改善や学力向上担当を中心とした対策プリントを実施した。その成果として「B 書くこと」の平均正答率は高い数値を示した。

一方で、今年度は「A 話すこと・聞くこと」の項目で課題が見られた。本校は校内研修の研修テーマを「伝えたいを実現する子ども～目的と相手に合わせて～」と設定している。その研修内容を一層深め、目的や意図に合わせて、資料を選び相手に伝える経験をさせられるような授業づくりを進めていく必要がある。

平均無回答率の低さや、児童質問紙の「今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか。」の項目では、「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。」の回答した児童の割合は高かった。このことから、粘り強く国語の問題に取り組む姿勢を読み取ることができる。



学校だより No. 11 の続きです。

【算 数】

<強 み>

問題番号4 (1) (問題の概要)

余りのある除法の商と余りを基に、23個のボールを6個ずつ箱に入れていくときに必要な箱の数をかく。

出題の趣旨

示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができる。

問題番号4 (3) (問題の概要)

30mを1としたときに12mが0.4にあたるわけを書く。

出題の趣旨

小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述できる。

問題番号2 (3) (問題の概要)

二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方を書く。

出題の趣旨

複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述できる。

<弱み>

問題番号1 (2) (問題の概要)

500mを歩くのに7分かかることを基に、1000mを歩くのにかかる時間を書く。

出題の趣旨

速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することができる。

(2) たけるさんたちは、駅から7分間歩いたところで、「博物館まで1000m」や「駅まで500m」と書いてある看板を見つけた。

道のり
500 m
1000 m

時間
7 分間
□ 分間

500 m を 7 分間で歩く速さで歩き続けると、1000 m を歩くのに何分間かかりますか。
答えを書きましょう。

問題番号1 (3) (問題の概要)

㉗と㉘の二つの速さを求める式の意味について、正しいものを選ぶ。

出題の趣旨

速さを求める除法の式と商の意味を理解している。

<分析>

今年度は、「A 数と計算」領域に強みが見られ、除法の理解など基本的な計算の正答率で高い数値を示した。また、他者の考え方を参考にし、数値を変えて記述する問題でも高い数値を示した。授業の中で、友達のことを使って、問題を解かせる経験をさせたり、繰り返し対策プリントで記述の学習をさせたりしたことが成果としてあらわれたのではないかと考えられる。

一方で、「速さ」の単元に課題が見られた。6年生の学習内容から5年生の学習内容に降った単元である。学習内容が多い5年生ではあるが、単位量当たりの面積の学習と関連させて考えさせていくなどの視点で効率よく授業改善していく視点が求められる。

また、「B 図形」の領域では平均すると、全国よりも高い数値を示しているようにも読み取ることができる。しかし、記述式の正答率が大幅に上回っていることでそのような数値となっている。三角形の面積の求め方や面積の量の保存性など図形の基本的な概念については今後も意識して指導していくことが求められる。

平均無回答率の低さや、児童質問紙の「今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらについてどのように解答しましたか。」の項目では、「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。」と回答した児童の割合は高かった。このことから、国語と同様に算数においても粘り強く問題に取り組む姿勢を読み取ることができる。



【児童質問紙】 学校だより No.12 の続きです。

<強 み>

質問項目
自分には、よいところがあると思いますか。
学校に行くのは楽しいと思いますか。
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。
あなたの学級では、学校生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。
学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。

<弱 み>

質問項目
朝食を毎日食べていますか。
普段の（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式ゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

<分 析>

児童アンケートから、「自分には、よいところがあると思いますか。」「学校に行くのは楽しいと思いますか。」の項目で、肯定的な回答をした児童が全国より高い数値となっている。「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。」「あなたの学級では、学校生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。」「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。」の三つの項目から、学級の中で、一人ひとりの考えの違いを大切に活動が行われていることがわかる。また、「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。」の項目から、自分で決めた目標に向かってやり遂げるような活動が行われていることもわかる。このことが、自尊感情の高まりや学校に対する満足感の高まりにつながっているのではないかと考えられる。

生活習慣では、「朝食を毎日食べていますか。」「普段の（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯ゲーム機、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。」の項目で、全国や三重県平均と比べると差が顕著であった。「毎日、同じ時刻に寝ていますか。」「毎日、同じ時刻に起きていますか。」の項目では、あまり差は見られないが、児童の実態から、夜遅くまで起きていたり、ゲームをするために朝早く起きたりする児童も多く、生活習慣の乱れがうかがえる。

読書習慣については、「まったくしない」と回答した児童の割合が高く、朝の10分間読書の時間だけで、普段から読書をしている実感を得られていない児童が多くいることがわかる。

<これからに向けて>

【学校で】

- ・課題のあった項目を指導する各学年の単元を洗い出し、指導方法の工夫改善を実施する。
- ・課題に応じたプリント等学習を継続的に進めるとともに、児童の主体性を引き出す授業作りに取り組む。
- ・児童の自尊感情がさらに向上できるよう、学校全体で人権教育、温かい学級集団作りに引き続き取り組む。

【家庭で】 子どもたちの健やかな成長のサポートを！

- ・規則正しい生活リズムを身につけさせましょう。（朝食、ゲームの時間等）
- ・お手本となる大人の姿を子どもに見せましょう。（子どもは大人の言うことより、することを真似します。ぜひ、大人が読書する姿やあいさつする姿等を積極的に見せてあげてください。）